

コロナ対策

5〜11歳のワクチン接種は

3月20日から集団接種



あさの しゅういち 議員
浅野 修一

の事業者に対し黒潮町事業復活支援金制度の実施を予定している。
給付額は、個人事業主20万円、法人100万円が上限で、商工業者のみならず、農林水産業など幅広い業種が対象。

問 コロナ対策として、飲食店への対応は、スピード感が大切だ。適切な対応はできているか。

答 高齢者施設などの福祉施設への対策はどのようなのか。

答 今西海洋森林課長

事業継続への支援として、黒潮町事業者経営サポート補助金があり、3月9日時点での申請件数は、およそ70件。うち半数の35件が飲食関係で、補助実績額は、約2300万円。

また、新年度からは国の臨時給付金の対象外

問 5歳から11歳のワクチン接種について、当町の対応と方針は。

答 佐田健康福祉課長
専門家の中でも効果の検証等々について議論がされ、ようやく2月21日から接種可能とされた。希望される方に3月20日から集団接種の日程を確保し、けんみん病院と、こいけクリニックに接種の依頼をしている。

防犯対策

防犯カメラの設置が少ないが

現時点で設置計画はない

問 幡多郡内で強盗事件が発生し36日間未解決であった。当町に防犯カメラは少ない。安価な防犯カメラでも十分な画像のため設置できないか。

答 徳廣情報防災課長
町として、防犯等の目的で設置が真に必要な箇所については、そのつど設置に向けて協議や検討を進めていく必要があると考えている。
現時点では、設置計画を定め防犯カメラを設置する予定はない。



一般家庭用防犯カメラの設置例
(赤丸がカメラ。国道の車両も映る)

脱炭素化

県の意向に沿った施策必要

県の計画と連動して

地球温暖化対策実行計画」には町内森林のもつ二酸化炭素吸収貯蔵機能についても明らかにし、今後の森林整備の方向性を探っていきたいと思っている。

問 濱田県政は令和4年度当初予算案に、デジタル化、グリーン化、グローバル化を盛り込んだ。町としても県の意向に沿った施策が必要だ。町の考えを問う。

問 町産材を活用した開発により、新産業としての確立を。

答 松本町長

県は、森林環境の保全、活用の施策を進めようとしている。当町としても、県と連動しながら令和4年度に策定する「黒潮町

答 今西海洋森林課長

新産業、新商品の開発等への取り組みは、現時点では具体案が示せていないが、令和5年度予算への反映を目指し、町産材利用補助金への取り組みを進めている。



3回目のワクチン接種の受付待ち合い風景
(令和4年3月20日、本庁舎1階ロビー)